

令和5年度研究推進計画

学 校 名 東広島市立豊栄小学校

学校長名 朝川 直子

1 研究主題，研究内容・方法等について

(1) 研究主題

自分の考えを広げ深める児童の育成

— 国語科説明的文章における対話指導の工夫を通して —

(2) 研究主題設定の理由

現代社会において、他者と協力しながら、さまざまな知識を基に、情報を取捨選択し、自分なりの考えをつくることで、新たな価値を生み出していくことが求められている。また、小学校学習指導要領解説「国語編」では、国語科の目標を「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成すること」としている。児童が正確に情報を理解し、適切に伝える力を身に付け、他者と対話することでよりよい方向を見いだせる力を身に付けるために、国語教育はますます求められる。

本校は、昨年度「自ら学び、考え、ともに高め合う児童の育成～自己調整学習の力（自ら学ぶ力）を育てるための国語科説明文における授業改善を通して～」を研究主題に設定して、自己調整学習の力（自ら学ぶ力）を育てるための国語科説明文における授業改善を行った。国語科の説明文において児童が自己調整学習を行うために、「予見」の段階では児童の課題設定や学習計画を工夫し、「遂行コントロール」では学習形態や学習方法の工夫を行った。その結果、「説明文を読む力が付いた」と実感する児童が大幅に増えた。一方、読み広げたり深めたりする場面での話し合いにおいては、自分の考えを述べるだけになってしまったり、根拠の乏しい対話になったりする等、対話によって得た気づきを学びとして自覚させるには至らなかった。

そこで、本年度は、国語科の説明文の学習において、児童が思考を深めるための対話を工夫し、協働的な学びとなるよう取り組んでいきたいと考え、研究主題を「自分の考えを広げ深める児童の育成」と設定し、副題を「国語科説明的文章における対話指導の工夫を通して」とした。研究主題の「自分の考えを広げ深めること」とは、小学校学習指導要領国語における「C読むこと」の指導事項「オ・カ 考えの形成及び共有」に関連している。本や文章を読んで、感じたことや思ったこと、考えたことなどを一人一人の児童がまとめ、表現し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができるよう、段階的に指導を重ねていく。また、副題の「対話」とは、「他者との対話」「自己との対話」「教材との対話」と捉えている。これまでの2年間、説明的文章の学習において研究を進める中で、児童が自らの課題と向き合える仕掛けを行い、課題に向けて取り組む中で自らの学び方を構築し、学習したことを主体的に他の場面に生かせる言語活動の場を設定してきた。今年度は、更に児童の思考を深めるための対話を学習過程に位置付け、学校全体で組織的・継続的な取組による研究を進めていく。

(3) 研究仮説

国語科説明文の授業において、児童の思考を深めるための対話を効果的に学習過程の中に取り入れれば、自分の考えを広げ深める児童を育成することができるであろう。

(4) 研究内容

①自分の考えを広げ深めるための「対話指導の工夫」について

(ア) 教材との対話

「筆者が述べている内容や考えを叙述に基づいて読み取るとともに、それらを基に自分の考えをもつこと」と位置付ける。実際の授業においては、筆者の考えを捉え、それに対する自分の考えを持たせる指導の工夫を行う。

- ・自分の考えを持たせるための時間の設定
- ・児童に付けたい力を明確にし、実態に応じた単元の構想と言語活動の設定
- ・個別最適な学習の工夫，ワークシートの工夫 等

(イ) 他者との対話

「自分の考えを，児童同士，児童と教師で伝え合ったり議論したり協働したりすることを通して，互いの考えをさらに広げ深めていく活動」とする。対話の必然性が生まれるような課題や発問を教師が意図的に設定することで，児童が自分の考えと他者の考えとを比較することができるようにする。

- ・対話する必要感を持たせるための課題設定の工夫
- ・読みを広げたり深めたりする機能を持つ発問の工夫

例) どの子も自分の考えを持てる発問や揺さぶりを生む発問 等

(ウ) 自己との対話

「教材との対話，他者との対話の前と後との自分の考えの広がりや深まり，身に付けた力などを意識し，自己の変容について振り返ること」とする。

- ・自己評価や相互評価の内容の吟味
- ・振り返りの質の向上 等

ポイント	振り返りの視点	教師の声掛け (例)
(1) 「振り返り」の目的を確認する。	① これまでの学びを自覚する。 ② これからの学びを見通したり，次の学びを生み出したりする。	① 今日の学習で分かったことやことやできるようになったことを書きましょう。 ② 今日の学習の続きとして取り組みたいことを書きましょう。疑問に思ったことや，もっとやってみたいことを書きましょう。
(2) 学習時間のまとまりを意識させる。	③ 1 単位時間を振り返る。 ④ 単元全体を振り返る。 ⑤ 複数の単元を関連付けて振り返る。 ⑥ 他教科等と関連付けて振り返る。	③ 今日の学習を「めあて」から振り返りましょう。 ④ 今日は，単元全体を振り返り，できるようになったこと，もっとやってみたいことなどを振り返りましょう。 ⑤ 前単元でやった「〇〇」の学習から学んだことができたかどうか振り返ってみましょう。 ⑥ 今日は，調べたことをいろいろな表現方法でまとめましたね。その際，他の教科で学んだことを活用したのであれば，その内容についても振り返りに書きましょう。

<p>(3) 「振り返り」の内容を焦点化する。</p>	<p>⑦ 学習集団の「めあて」「課題」及び自己の「めあて」「課題」から振り返る。 ⑧ 学習の過程を振り返る。 ⑨ 認知の過程を振り返る。</p>	<p>⑦ 全体の「めあて」だけでなく、自分の「めあて」からも、分かったこと、できたことなどを書きましょう。 ⑧ 今日の学習の方法について振り返りましょう。 ⑨ 今日の学習で、自分の考えがどのように変わっていったか書きましょう。</p>
<p>(4) 「振り返り」を振り返らせる。</p>	<p>⑩ 自己の成長を自覚する。</p>	<p>⑩ 自分の書いた「振り返り」を読み直し、これまでの自分と今の自分を比べて、変わったな、成長したなど感じたことを書きましょう。</p>
<p>(5) 他者と「振り返り」を共有させる。</p>	<p>⑪ 他者の「振り返り」の内容を自分の学びに生かす。</p>	<p>⑪ 友達の書いた「振り返り」を読んで（聞いて）、気付いたことや考えたことなどを書きましょう。</p>

②対話を活性化させるための日常的な取組

- (ア) わくわくトーク朝会，朝の会でのわくわくトークの実施
対話の技能（スキル）を身に付けさせるためのトレーニング 等
- (イ) オト丸タイム
認知機能強化トレーニング（N-COGET）の実施
おはなしポケットさんによる読み聞かせ
- (ウ) オト丸575，豊栄の四季（俳句）・読書活動の充実への取組
語彙力や感性を高める。
- (エ) 安心して対話できる学級づくり
学習規律の徹底（豊栄スタディールール）
学習環境の整備，児童理解 等

③理論研修

- ・各学年の説明的文章の教材で、付けたい力と思考を深めるための対話について児童の具体的な姿を整理し、ルーブリックを作成する。（学習指導要領との関連を図る。）
- ・指導事項を確認し、評価基準と評価計画を整理する。（指導と評価の一体化を図る。）

④実践研究

- ア 児童が自分の考えを広げたり深めたりできる効果的な対話による学習場面の設定
 - ・児童に付けたい力を明確にし、学びを深めるための対話の工夫を行う。
 - ・児童の実態を適切に把握する。（プレテスト，意識調査等）
 - ・指導目標の面からも学習者の視点からも適切な言語活動を選択する。
 - ・学び深めるための3つの対話を工夫し、それぞれの対話の効果を評価する。
- イ 自らの学びを深める力を育成するための学習評価の工夫
 - ・自己評価できる振り返りの手立ての工夫

- ・相互評価できる友達との交流の工夫
- ・児童の具体的な姿を見取る評価基準と評価計画の作成

(5) 検証の方法及び指標

① 教師の授業評価表の分析

- ・ 研究授業における教師の相互評価を通して、目指す児童を育成する学習指導を実現することができていたかを評価する。4段階評価の平均値3以上

② 児童と教師の意識調査の実施と分析

- ・ 4月、7月、12月に意識調査を行い比較する。肯定的評価80%以上

③ 児童の対話の見取り（発言、グループワーク、ノート、ワークシート）

④ 児童の振り返りの見取り（単元末自己評価表、相互評価、授業ごとの振り返りの記述等の分析）

⑤ 児童の学力テストの分析

- ・ 読解力検証テストの正答率が、低学年60%以上、中学年70%以上、高学年80%以上
- ・ CRTにおける各学年の説明文の正答率の目標値を5%以上、上回る

2 検証計画及び研修計画

月	検証・研修内容	検証方法
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の研究の方針 ・研修推進計画などの理論研修 ・全国学力・学習状況調査（6年） ・児童と教師の意識調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の分析 ・意識調査の分析①
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・検証授業（3年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案検討 ・検証の指標、授業評価表、児童の振り返り
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・NRTの実施 ・授業研究の指導案検討 ・検証授業（4年）（5年）（6年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・NRTの分析 ・指導案検討 ・検証の指標、授業評価表、児童の振り返り
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究の指導案検討 ・検証授業（1年）（2年） ・児童と教師の意識調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案検討 ・検証の指標、授業評価表、児童の振り返り ・意識調査の分析②
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の授業の振り返り、研究会に向けて課題検討 ・公開授業研究の指導案検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案検討
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究の指導案検討 ・検証授業（特別支援学級） 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案検討 ・検証の指標、授業評価表、児童の振り返り
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究の指導案検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案検討
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・公開研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ・検証の指標、授業評価表、児童の振り返り
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と教師の意識調査 ・研究紀要作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・意識調査の分析③ ・研究の検証
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・CRT（標準学力検査）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・CRTの分析
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究のまとめと来年度へ向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果と課題の整理

3 研究公開の予定について

公開予定日	令和5年11月10日
-------	------------

